

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2002-251575(P2002-251575A)
 【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)
 【出願番号】特願2001-45559(P2001-45559)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 Q 20/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 3 3 2

G 0 6 F 17/60 1 1 2 A

G 0 6 F 17/60 4 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月6日(2008.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】 【請求項 1】携帯端末でデータ情報を送信又は受信する際に該データ情報に電子的に添付することにより該データ情報の送信又は受信に対する通信料金の一部又は全額を代替するために使用可能であるように構成されることを特徴とする電子切手。 【請求項 2】前記電子切手は、前記携帯端末の利用者による前記データ情報の送信又は受信に対する通信料金の一部又は全額を前記電子切手の提供者が代替して支払うことができるように構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の電子切手。 【請求項 3】前記電子切手は、前記データ情報に電子的に添付されているときに該電子切手に対応付けられたコンテンツを前記携帯端末に出力可能であるように構成されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の電子切手。 【請求項 4】前記電子切手は、特定の使用者向けに発行されるプレミア切手と、料金負担者が指定した使用者属性に適合する全ての使用者が利用できるオープン切手とに分類され、各該電子切手に固有の ID 番号がそれぞれ付与されることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の電子切手。

【請求項 5】前記電子切手に対応付けられた前記コンテンツを前記携帯端末の利用者の位置情報に基づき選択可能であるように構成されることを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の電子切手。 【請求項 6】前記電子切手は、使用に際してその有効期間を設定可能であるように構成されることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の電子切手。

【請求項 7】前記電子切手は、前記携帯端末で送信又は受信される前記データ情報のサイズに応じて更に別の電子切手と併用することが可能であるように構成されることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の電子切手。 【請求項 8】前記電子切手は、前記携帯端末の画面に表示可能なフォーマットで電子的に添付することにより

予め指定された送信先に自動的に送信可能であるように構成されることを特徴とする請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の電子切手。 【請求項 9】前記請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の電子切手を使用するデータ通信装置。

【請求項 10】前記請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の電子切手を使用するデータ通信システム。 【請求項 11】通信回路網を経由して携帯端末でデータ情報を送信する際に該データ情報に電子的に電子切手を添付する段階と、前記電子切手を前記データ情報に電子的に添付した後に該電子切手に対応付けられたコンテンツを前記携帯端末に出力する段階と、前記コンテンツ

を前記携帯端末に出力した後に前記電子切手が電子的に添付された前記データ情報を送信する段階と、前記電子切手が電子的に添付された前記データ情報を送信した後に該データ情報の送信に対する通信料金の一部又は全額を前記電子切手により代替する段階とを具備することを特徴とする電子切手を利用したデータ通信方法。 【請求項 1 2】前記通信回路網を経由して送られてきた前記電子切手が電子的に添付された前記データ情報を携帯端末で受信する段階と、前記電子切手が電子的に添付された前記データ情報を前記携帯端末で受信した後に該電子切手に対応付けられたコンテンツを該携帯端末に出力する段階と、前記コンテンツを前記携帯端末に出力した後に前記データ情報を該携帯端末に出力する段階と、前記データ情報を前記携帯端末に出力した後に該データ情報の受信に対する通信料金の一部又は全額を前記電子切手により代替する段階とを更に具備することを特徴とする請求項 1 1 に記載の電子切手を利用したデータ通信方法。 【請求項 1 3】前記添付された電子切手の使用期間が有効か否かを判断する段階を更に具備し、前記判断の結果、前記電子切手の使用期間が有効である場合には、前記通信料金を該電子切手により代替することを特徴とする請求項 1 1 又は 1 2 に記載の電子切手を利用したデータ通信方法。 【請求項 1 4】通信回路網を経由してデータ情報を送信する際に該データ情報に電子切手を電子的に添付する手段と、前記電子切手を前記データ情報に電子的に添付した後に該電子切手に対応付けられたコンテンツを出力する手段と、前記コンテンツを出力した後に前記電子切手が電子的に添付された前記データ情報を送信する手段とを備えている送信装置； 前記通信回路網を経由して送られてきた前記電子切手が電子的に添付されたデータ情報を受信する手段と、前記電子切手が電子的に添付された前記データ情報を受信した後に該電子切手に対応付けられたコンテンツを出力する手段と、前記コンテンツを出力した後に前記データ情報を出力する手段とを備えている受信装置； 前記送信装置の使用者又は前記受信装置の使用者を該使用者の識別情報に基づき識別する識別手段と、前記識別手段により前記送信装置の前記使用者又は前記受信装置の前記使用者が識別された場合に前記電子切手に関連する情報を該送信装置又は該受信装置に配信する配信手段と、前記送信装置により送信された前記データ情報の送信に対する通信料金の一部又は全額及び前記受信装置により受信された前記データ情報の受信に対する通信料金の一部又は全額を前記電子切手により代替する課金手段とを備えている通信制御装置、を備えていることを特徴とする電子切手を利用したデータ通信システム。